

# キッピッピ

三田市立図書館



2020年



## あたらしい本がはいったよ

### ねこになっちゃった

角野 栄子 / 作 よしむら めぐ / 絵  
小学館 2020年7月 Eヨシ

アコちゃんと、おともだちのトラトラちゃんとクマちゃんは、いつもいっしょにあそびます。きょうは、おとなりのねこのミミがやってきました。アコちゃんがミミを「ねこあそび」にさそうと、ミミはうれしそうに「ぐるー」とおへんじ。さっそく、アコちゃんたちもまねします。さらに、クレヨンでおひげをかいたり、「みやみやあー」とおおきなあくびをしたり。みんなすっかりねこになって、たのしくあそんでいると…。



### こんにちは！ わたしのえ

はた こうしろう / 作  
ほるぷ出版 2020年7月 Eハタ



まっしろのまんなか、おもいきってふでをのせる。そのまま、ずういいいいいとうごかすと、ギザギザのいきものがうまれてきた。いろいろないろで、せんやてんをかいていく。もっとおおきく！はねてとんで、ちらかして！てもあしも、ぜんぶつかって、どンドンすてきになっていく。えをかくって、じゆうで、きもちいい！

## 《本館》 おはなしどうぶつえん

小<sup>しょう</sup>どうぶつからもうじゅうまで、いろいろなどうぶつのおはなしの絵本<sup>えほん</sup>をあつめました。



### キリンのあかちゃんがうまれた日

志茂田 景樹／文 木島 誠悟／絵

ポプラ社 2019年7月 Eキジ

「きたのどうぶつえん」には、スカイとコハネという2頭のキリンがいます。コハネのあかちゃんがうまれる日<sup>ひ</sup>がちかづいてきました。もうすぐおとうさんになるスカイは、しんぱいでおちつきません。そして、ある日<sup>ひ</sup>…。

## 《ウディタウン分館》

### あいことば がっこう 合言葉は「学校」

「学校」<sup>がっこう</sup>を合言葉<sup>あいことば</sup>（キーワード）に、いろいろなお話<sup>はなし</sup>の本<sup>ほん</sup>を集めます。

### にし まじょ し 西の魔女が死んだ

梨木 香歩／著作者

小学館 1996年4月 Nナシ

ちゅうがっこう<sup>い</sup>へ行けなくなった少女<sup>しょうじょ</sup>まいは、おばあちゃんの家<sup>いえ</sup>で「まじょ<sup>しゅぎょう</sup>の修行」をすることになりました。いったいどんなことをするのでしょう。まいはどうなるのでしょうか。



## 《藍分室》 ドッキリ！ハロウィン

みんなハロウィンってしてる？あの世<sup>よ</sup>とこの世<sup>よ</sup>がであうちょっとこわい夜<sup>よる</sup>だよ。こどももおばけやまじょにかそうしたりするよ。絵本<sup>えほん</sup>ではどんなことがおきてるかな。のぞいてみよう。

### ハロウィーンって なあに？

クリステル・デモワノー／作 中島 さおり／訳

主婦の友社 2006年10月 Eデム

ビビはちっちなまじょ。ビビがなかまのまじょたちに<sup>こえ</sup>声をかけても、みんなかぼちゃを集めるのにむちゅうで見むきもしない。かなしくなったビビがおばあちゃんの家<sup>いえ</sup>にいくと…。





# みつけたよ！<sup>ほん</sup>こんな本



## せかいでひとつだけのケーキ

あいほら ひろゆき／作 あだち なみ／絵

教育画劇 2006年4月 Nアイ



きょうは、ママのおたんじょうび。ゆうたは、ママにないしょでケーキをプレゼントしようとしていました。ところが、<sup>こま</sup>困ったことに <sup>いもうと</sup>妹 のもものめんどろをみることになってしまい、<sup>よてい</sup>予定が<sup>か</sup>変わってしまいました。ゆうたは、ももをつれてはじめてバスに乗って…。<sup>にい</sup>お兄ちゃんを<sup>おうえん</sup>応援したくなるおはなしです。

## にわ 庭のたからもの

大野 八生／著者

小学館 2017年1月 47/17



<sup>みち</sup>道<sup>ある</sup>ばたを歩いているとクローバーやツツジなど<sup>いろいろ</sup>色々な<sup>くさばな</sup>草花にであうことがあります。<sup>ふだん</sup>普段な<sup>とお</sup>げなく<sup>おぼしよ</sup>通る<sup>みちか</sup>場所<sup>はる</sup>で「たからもの」を<sup>ふゆ</sup>みつけて<sup>しよくぶつ</sup>みませんか？<sup>しぜん</sup>みなさんの<sup>した</sup>身近<sup>しょうかい</sup>にある<sup>め</sup>春から<sup>み</sup>冬の<sup>たの</sup>植物<sup>ほん</sup>だけでなく、<sup>たの</sup>自然と<sup>ほん</sup>親しむ<sup>ほん</sup>ヒントを<sup>ほん</sup>紹介<sup>ほん</sup>しています。目で見ただけでも<sup>たの</sup>楽しめる<sup>ほん</sup>本です。

## と しょかんいん き い 図書館員のお気に入り♪

### 「いい おかお」

松谷 みよ子／文 瀬川 康男／画

童心社 1967年4月 Eセガ



ふうちゃんがひとりでいいおかおをしています。そこへ、いいおかおみせてとねこもいぬもやってきました。みーんなふうちゃんのまねっこしていいおかおがいっぱいになりました。この<sup>えほん</sup>絵本をよんで、おかあさんもおとうさんも<sup>こ</sup>お子さんもみんないっしょにいいおかおをしてみませんか？<sup>えほん</sup>とってもやさしい絵本です。

# 今月の紙しばい

## キジムナーにあったサンラー

さえぐさ ひろこ / 脚本 宮澤 ナツ / 絵

童心社 2020年8月 Kキ



おきなわ むかしばなし さかな おとこ よる うみ  
 沖縄の昔話より。魚をとるのがへたなサンラーという男が、ある夜、海でガ  
 ジュマルの木のようせい・キジムナーとであった。キジムナーは、「魚の目玉を  
 ぜんぶくれるなら魚つりをてつだってあげる」という。その日からまいばんキ  
 ジムナーといっしょのサンラーはたくさんの魚をつるが、そのうちつかれてく  
 たくたになっちゃった。そこでおもいきってキジムナーに「魚つりをやめた  
 い」といって見たのだが…。

なるほど!

## いきものまめちしき

こんげつ  
 今月は  
 ミジンコ  
 だよ!

たんぼやいけなどにすむミジンコといういきものをして  
 いますか。

ミジンコは大きさ1～3ミリメートルととても小さく、から  
 だの色はとうめいで、手のようなしよっかくをふっておよぎ  
 まわります。せなかにはカラがあって、エビやカニのなかま  
 なんですよ。

じぶんより小さなプランクトンをずっと食べつづけるミジンコ  
 ですが、じぶんは小さい魚などによくねらわれます。てきがい  
 るとそのにおいをかぎとり、あたまのさきをとがらせたり、カラ  
 をかたくしたりと、からだのかたちをかえて、食べられにくくな  
 るためのくふうをするミジンコもいます。



参考文献 「プランクトンのえほん ミジンコ」

吉田 丈人 / 監修

ほるぷ出版 2017年11月 46/17